

2月定例月議会における議案に対する意見募集に寄せられた意見

総件数 27件

(内訳)

No.1	四日市マリッジサポート事業費	…7件
No.2	介護予防等拠点施設関係事業	…4件
No.3	自動通話録音警告機購入費補助金	…4件
No.4	Wi-Fi環境等整備事業	…7件
No.5	食品ロス削減推進事業	…5件

今回ご意見をいただいた人数 11人

*一人あたりのご意見件数

5件の議案にご意見をいただいた方：4人

4件の議案にご意見をいただいた方：0人

3件の議案にご意見をいただいた方：0人

2件の議案にご意見をいただいた方：0人

1件の議案にご意見をいただいた方：7人

内訳：	10歳代	1人
	20歳代	1人
	30歳代	1人
	40歳代	2人
	50歳代	0人
	60歳代	2人
	70歳以上	4人
	不明	0人

2月定例月議会における議案に対する意見募集に寄せられた意見

	No.1	四日市マリッジサポート事業費
総務 常任 委員会	1	<p>結婚を望む人はたくさんいると思いますが、出産、親の介護等、すべて女性の肩にかかってきます。男性は何もしない人がほとんどです。子育ても介護も24時間気が抜けません。子供は育ってくるので楽になりますが、介護はいつ終わるとも知れず、うつになる人もいと聞きます。その上「女性活躍」などと響きの良い言葉を使って社会で働くことも要求されます。結婚に夢がもてるような社会を望みます。</p>
	2	<p>現在の少子化の状況は、やはり団塊ジュニア世代の就職氷河期が一番関係していると考えます。本来は20年前に本腰を入れて考えないといけない問題でした。今の今までこの少子化問題を放置してきたのかと思うと憤りを感じます。</p> <p>これは問題先送りです。(テストでは簡単な問題から先に、難しい問題は後にして時間をかけると教えられてきました。難しい社会問題は放置されてきました。まさにこれは少子化問題といえます)時は止まっていたのか？</p> <p>このままでは駄目だと、誰か強い政治家がリーダーシップを取って将来のことを憂い考えなかったのか？しかし、いつまでたっても止まっていたは前には進みません。時は待ってはくれません。団塊ジュニア世代の失敗を次世代で改善されることを切に願います。</p> <p>しかし、独身貴族で優雅な暮らしてきた方々を結婚させるにはなかなかハードルが高いと思います。あと低収入で自分に自信を持たず、心根から結婚を諦めている方々もおられます。</p> <p>しかし、マリッジサポートをやろうとする取り組みは応援します。まずははじめの一步が出ないと何も始まりません！思い立ったが吉日！今から少子化を改善させましょう！</p>
	3	<p>今は出会いの場などが少なくなってきたりしていると思うので、その機会をつくるというのは賛成です。その後の支援も大変ありがたいと思うので、素晴らしい案であると思いました。質問なのですが、もしこの予算をこえるようなことが起きたとすると、また、新しく追加するという形なのですか？</p>
	4	<p>(1) 四日市マリッジサポート事業 出会いの機会となるイベント開催内容の具体的提案(実行案)が重要。 ➡社会の構造的変化による結婚に対する価値観の違い、また希望しても願望表現が出来ない人、プライドが高い人、出会いの機会が本当に少ない人等々の多様化。本当に希望が持てる機会づくりが大切。お金の支給より、少子化対策の身近な第一歩と効果。</p> <p>(2) 結婚祝い金給付事業 新規に婚姻届を提出し、出産した夫婦ともに・・・1世帯あたり10万円の結婚・出産祝い金を支給する。 ➡偽装結婚が多発する可能性あり。血税を使用するべきでない。</p>

2月定例月議会における議案に対する意見募集に寄せられた意見

	No.1	四日市マリッジサポート事業費
総務常任委員会	5	<p>未婚の男女の数は相当数に上ると感じています。未婚者の増加は出会いの機会の減少も大きな要因だと思われ、市が出会いのためのイベントを企画するのは大賛成です。ぜひ、この事業を大きくPRし成果をあげてほしい。</p> <p>イベントの広報への掲載やマスコミリリースだけでは不十分であり、お金をかけてSNSや新聞広告などで積極的にPRし、四日市市が支援していることを示す「本気度」が望まれます。</p> <p>結婚祝い給付金は「ないよりまし」程度の意味だと考えます。</p> <p>10万円の給付金で結婚を後押しできるとはとても思えません。一時金でなく、結婚生活や子育てを継続的に支援する施策の充実が求められます。</p> <p>施策としてはいろいろあると思いますが、一つは子弟の高等教育に対する支援です。義務教育については比較的成本は見えています。給食なども充実してきており、経済的な不安は低減されてきています。</p> <p>しかし、高等教育については、ずっと先の話ではあるが、たくさんのお金が必要という漠然とした不安があります。そこで、市が少なくとも国立大学の授業料程度は面倒みるというような姿勢をみせれば、子育てに対する不安解消の一助となるのではないかと考えます。事業費1億4300万円はそのための施策の一部に回すほうが、人口減少・少子化という課題の解決につながるでしょう。</p>
	6	<p>少子高齢化社会において、少子化は大変な課題である。私たち高齢者を支えるのが次世代の若い人々である。そのことを考えれば次の世代を担う子どもつくる世代の結婚は当然期待され、加速される課題である。そのことから考えればこの事業は大いに賛成である。</p> <p>しかし、議会で同時に考えていただきたいのは、どんどん日本の人口を増やすのが、地球環境上、正解かということである。日本は先祖のDNAを受け継ぎ、ものづくりにおいては世界屈指の国である。そのことを考えれば、市民が一体となり現状を認識し協力して、ものづくりと経済成長に邁進することではないでしょうか。負の課題を解決するには、市民の考えを合わせる必要があるかと思えます。</p>
	7	<p>発想がずれていると思う。単に結婚がしたいなら民間の街コンや有料・無料のお見合いサイトがたくさんある。それでも結婚に踏み切れないのは、結婚した後が不安だから。子どもを授かったとき、「仕事が続けられること＝保育園に入れられることが容易である」状況であれば、結婚・出産へのハードルはぐんと下がる。そういう、民間にできないことを市には期待したい。</p> <p>育休退園の存在についても検討してほしい。母親の子宮の回復には半年かかるし、おもしろい駐車場の利用も産後半年までOKなのに、なぜ育休退園があり、さらに産後2ヶ月なのか。上の子にすれば、下の子ができて親の関心が奪われるという慢性的な不安感に加えて、保育園という居場所まで突然失う。当たり前の毎日が壊れてしまう。まだ3歳にもならない小さな体で大きな負担に耐えなければならない。情緒不安定になったり夜驚症になる子もいると聞く。</p> <p>母親も、まだ真っ直ぐ立つことすらできない体で動き回る上の子と遊びつつ、メンタルケアもしながら、乳飲み子の世話をし寝不足と貧血でフラフラになり、さらに家事もこなす。下の子の首がすわっていないので外出も容易ではなく、産後うつになりかけている友人もいる。</p> <p>この状況を回避するために育休退園にならない年齢を待っていたら、親が妊娠に躊躇する年齢になってしまい、少子化に拍車がかかる。</p>

2月定例月議会における議案に対する意見募集に寄せられた意見

	No.2	介護予防等拠点施設関係事業
教育民生常任委員会	1	<p>祖母の介護が、母にかなり負担になっておりました。私はそれを目の当たりにし、いずれはその日がやってくるのだろうと。介護の負担軽減になるのなら素人目から賛成します。上手いことやりくりして下さい。</p>
	2	<p>介護を必要としている人に、指導などを実施するのは良いと思いました。しかし、これからどんどん高齢化は進んでいくので、(2)にある介護予防普及啓発事業費にもっとお金を使っても良いのではないかと思います。</p> <p>そこにもっと力を入れていけば、これからの話になりますが、これから高齢者になり、介護が必要になっていく人たちを減らすことができると思うので、もっと予算を増やしても良いと思いました。</p>
	3	<p>感想になるが、高齢化がますます進む中、このような事業強化は重要。</p> <p>他方、拠点施設の具体的なイメージが良く理解されないが、特に、(3)については、もっと予算等重点化して、機能を分散せず集約して試行していくべきではないか。予算配分についても強化すべきでは。</p> <p>また、予算の財源について、本事業では、介護保険料からの捻出は可能限り低減化して、市県国などからの一般財源からの捻出を考えて頂き、実績を積みながら単なる委託事業に終わらせないような地に足着いた社会福祉政策に変えていくべきではないか。</p>
	4	<p>これも高齢化社会においては、重要なことであり一日も早い実施が望まれる。しかし、最近、地域において施設に入る人や認知症の方を昔に比べて、たくさん見るようになってきている。</p> <p>それは、多分、医療技術が向上し、平均寿命が延びたことに対して健康寿命の延伸が図られていないからだと推察される。それにともない、社会保障費が急増し、若者の負担が増えていくことが予測される。</p> <p>議案に見られるような処置も大切であり、早急な対処が求められるが、それ以前に多くの高齢者がフレイル化や認知症にならないための予防が必要なことは明らかなことである。</p> <p>なぜ、そのことに余り熱心に手を付けないのか不思議でたまらない。その予防法に効果がないと思っているのであろうか？</p>

2月定例月議会における議案に対する意見募集に寄せられた意見

	No.3	自動通話録音警告機購入費補助金
産業生活常任委員会	1	いや、65歳以上の方の全世帯の電話機を自動通話録音機にする。振り込め詐欺を完全に無くす。悪行を考えている輩を排除する市を目指すのです。行政、警察、銀行、コンビニの負担軽減にもなります。悪いニュースも聞かなくなり皆が快適に暮らせる市となります。65歳以上の全世帯に配りましょう。行政が取り組む安心出来る市としてアピールするのです。
	2	高齢者からすると、大変ありがたい案だと思うので良いと思いました。
	3	感想であるが、自動通話録音警告も有用だが、騙されて危ない行動に移さないためにも、留守番電話と電話番号表示機能の設置がより有用ではないかと思われる。本当に重要な案件は、何度も連絡してくる。その中で電話の内容を聞く人は冷静になれることが多いように感じる。 また、特殊詐欺や悪質な電話勧誘等の手口は、ますます巧妙化している。被害例を広報などで個人情報を守りつつ紹介し、被害に合わないような事前対策をもっと積極的に打つべき。
	4	高齢者を対象に、特殊詐欺や悪質な電話勧誘等からかなりの被害を受けていることは、ニュースによって明らかなことである。従って上記議案に対しては高齢者の立場から大いに賛成である。是非、早急なる実施をお願いしたい。 しかし、このような犯罪が繰り返されるのは、刑法があっても罰則規定がゆるすぎるのではないだろうか。被害にあった老人等の困惑と、犯罪を犯した人間の間合いがとれていないように思います。是非、この点からの罰則規定の強化をお願いしたいと思います。

2月定例月議会における議案に対する意見募集に寄せられた意見

	No.4	Wi-Fi環境等整備事業
産業生活常任委員会	1	Wi-Fi環境を整えることで患者の満足度を向上させ、さらに医療従事者が利用するインターネットの遅延も改善されるなら良い事業だと思う。この事業は市立四日市病院だけに対するものなのか？他の病院に対する補助などは考えていないのか？
	2	この議案は、高齢者から若者まで嬉しいと思うので良いと思いました。
	3	この分野の普及は、四日市市だけではないが非常に遅れている。医療環境整備や医療ネットワーク作りとしても重要で、総合病院だけでなく、広く一般のクリニックにも拡大・普及させるべき。但し、入院患者のオンライン面会者や特に外来患者は高齢者の比率が高いと思われるので、使い方などの指導も必要かと。
	4	1、患者用無料Wi-Fi環境整備 昨年10月に20日間入院し病室にWi-Fiが繋がっていなかったので高額の料金請求となり、設置の必要性を思っていた。また、外来を含め、面会不可の現状であり早急に整備を願う。精神衛生上からも健康改善が期待できる。 2、業務用ネットワーク更新 重要な事項、情報の共有化の面からも早急に。
	5	無料Wi-Fi環境が市立四日市病院の病室や外来に整備されることは喜ばしいことですが、予算が1億3400万円もかかるので内訳が知りたいです。
	6	IT社会の到来でWi-Fiを使用する機会が増えてきている。それにもかかわらず使用環境の整備は随分遅れているものと感じる。この事業は遅きに失していると言わざるを得ないが、遅ればせながらも整備事業は賛成である。 日本は資源のない国であり、唯一人材が世界に誇るべき資源である。このことから考えれば、ITに関しては世界のトップリーダーでなければならないのに、国の指導はいったい何を考えているのだろうか。 Wi-Fiの普及はあわせてソフト関係の人材育成も同時に必要である。地域の老人会等に働きかけてスキル教育が必要である。
	7	以前、子どもの2週間の入院に2回付き添いました。5年の間がありましたが、Wi-Fiが整備されていないままであることに驚きました。テレビも有料であり、文字も読めない年齢の子どもは入院生活がとて長く辛いものでした。付き添う親が子どもの遊びに付き合うことに必死でした。 外来については、ペースメーカーを使っている方もいらっしゃるのですが、どう判断すべきかわかりませんが、病室についてはぜひ整備を進めていただきたいです。

2月定例月議会における議案に対する意見募集に寄せられた意見

	No.5	食品ロス削減推進事業
都市・環境常任委員会	1	食品ロスの問題はかなり深刻だと思うので、この議案は良いと思いました。これによって生活困窮者も救うことができると思うので、実現してほしいと思いました。
	2	電気・ガス料金とともに、食品の値上げは日常の家計を圧迫している。食品ロスを削減してごみの減量につなげることも重要だが、食品の無駄遣いは近年目に余る。 食料不足で危機に喘いでいる生活困窮者は急増している。議案は、地域密着型の課題事業としては大変よいことと思うが、(今後は)もう少し視野を環境と経済が両立した循環型社会の構築(3R)の構築に広め、県や国の行政が関わるような重要な課題として取り組むべきアイテムである。寄付の申し入れという消去的な施策ではなく、もう少し予算の底上げを図り、例えば、食品リサイクル加工事業等の立ち上げが例示される。
	3	食品ロスで廃棄する食品は大変多いです。我が勤める社内のコンビニ廃棄の量を目の当たりにしているのでいつも「モッタイナイ」と痛感しています。是非廃棄せずまた生かせるように寄付出来る環境を強く切望します。
	4	この事業も日本の「もったいない」というフレーズがあるように、物を大切にすることは大切なことであり、大いに推進することは重要なことである。是非、早急に実施してほしい。
	5	私は、生活保護受給者です。昨今の、物価、電気代、ガス代の高騰で毎日朝ごはんは抜きで、日曜日は終日めし抜きです。 そうしないと、生きて行けません！健康で文化的な生活なんかとんでもありません。せめて1日3食食べられる様に助けて下さい。フードロスの食品でパンでもお弁当でも食べさせて下さい！！いつ、自殺しようか考える毎日です。